

学校教育目標

- ◎自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジする生徒の育成
- ◎広い視野を持ち、地域社会の形成にすすんで参画できる生徒の育成

総合学科

笛吹高校の3年間で身に付けてほしい力

- 将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深め、心豊かに主体的・創造的に生きていくことのできる資質や能力を育成する。
- 個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや、成就感を体験し、学習に対する意欲や態度を育成する。

1年次の目標

『産業社会と人間』の時間、授業体験、社会人講話等を通して、自己を見つめ、地域や社会を考え、将来にわたる生き方あり方について考えを深める。自分の興味・関心や適性・能力等を見出し、自分に合った進路目標の決定に努める。

2年次の目標

目指す進路実現に向けて、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得する。

3年次の目標

明確な目標意識を持ち、自分の夢や興味関心に応じた知識や技能をさらに充め、進学や就職に対応できる実践力を身につける。

学ぶ皆さんへの助言・アドバイス

2年次以降の具体的な選択科目を決めるために、1年次では自分の個性や適性を発見し、将来の進路や生き方、学習の仕方などを学び、「なりたい自分」探しをします。講演や体験学習を通じて、自分のこととして捉え、職業研究や進学研究をし、理想とする人物の姿を思い浮かべて自分がどう生きるべきかを考えながら授業に取り組みましょう。

2・3年次では、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得するとともに、将来の職業生活に必要な態度や能力を養います。就職・進路の幅を広げられるよう真剣に取り組みましょう。

	教科	科目	
1	国語	国語総合 現代文	
2	国語	国語総合 古典	
3	地理歴史	世界史 A	
4	数学	数学 I	
5	数学	数学 A	
6	理科	科学と人間生活	
7	保健体育	体育	
8	保健体育	保健	
9	外国語	コミュニケーション英語 I	
10	外国語	英語表現 I	
11	家庭	家庭基礎	
12	情報	社会と情報	
13	産業社会と人間	産業社会と人間	

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	国語 国語総合（現代文）	単位	2	履修区分	必履修	・必修	・選択
対象学年・類型・コース	1年 普通科・総合学科						
使用教科書	『標準国語総合』（第一学習社）						
副教材	新国語便覧（第一学習社）・常用漢字パーフェクトクリア（尚文出版）						
目標とする生徒の将来像	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。						
評価の観点	① 【关心・意欲・態度】国語への関心を深め、国語を尊重して向上を図ろうとしているか。 ② 【話す・聞く能力】目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったりしているか。 ③ 【書く能力】目的に応じた適切な文章を書き、自分の考えをまとめ、深めているか。 ④ 【読む能力】文章を的確に読み取り、自分の考えを深め、発展させているか。 ⑤ 【知識・理解】言語の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けているか。						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価	※テスト=定期考査含	
1 学 期	第1回定期試験 5/21～	・随想「世界は謎に満ちている」 ・詩 2編	・好奇心の大切さに目を向け、高校生活への抱負を新たにする。 ・筆者の主張を的確に読み取り、自分の考えをまとめる力。 ・作品を深く味わう。・鑑賞力	① 授業態度・ノート ② 話し合い・発表 ③ 作文 ④ テスト ⑤ 漢字テスト・問題集	A B C A B C A B C A B C A B C		
	第2回定期試験 7/3～	・小説「羅生門」	・登場人物の心理の変化を捉え、その心理や行動から人間についての洞察を深める。 ・登場人物の心理を読み取る力。自身の意見を明確に述べる力。	① 授業態度・ノート ② 話し合い・発表 ③ 感想文 ④ テスト ⑤ 漢字テスト・問題集	A B C A B C A B C A B C A B C		
2 学 期	第3回定期試験 10/2～	・短歌と俳句 ・評論「水の東西」	・作品を深く味わう。・鑑賞力 ・創作する。・表現力、創造力 ・論理の展開や要旨、筆者の主張を的確にとらえる。・読み解力	① 授業態度・ノート ② 創作作品 ③ 相互評価 ④ テスト ⑤ 漢字テスト・問題集	A B C A B C A B C A B C A B C		
	第4回定期試験 12/4～	・随想「黄色い花束」 ・詩 1編	・記録文の読み方を習得する。 「平和」「世界」への考察を深める。・読み解力・考察力 ・作品を深く味わう。・鑑賞力	① 授業態度・ノート ② 話し合い・発表 ③ 意見文 ④ テスト ⑤ 漢字テスト・問題集	A B C A B C A B C A B C A B C		
3 学 期	第5回定期試験 2/22～	・小説「夢十夜」	・夢幻的な小説世界の人物・情景・心情を的確にとらえ、内容理解を深めるとともに、作品の感想を情緒豊かに表現する。	① 授業態度・ノート ② 話し合い・発表 ③ 意見文 ④ テスト ⑤ 漢字テスト・問題集	A B C A B C A B C A B C A B C		
	検定資格（時期）	漢字能力検定を年に3回、校内で受検できる機会を用意する。（8月・12月・2月） 受検費用は級に応じて2000～4000円）2級に合格した場合は国語に1単位増算できる。					
	履修にあたって	1時間1時間を大切にして、読み力・考える力をつけていきましょう。 毎週、漢字テストを行うので、丁寧に、投げ出さず、全回合格を目指しましょう！ 週間課題での問題集演習を習慣にしましょう。					

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	国語 国語総合（古典）	単位	2	履修区分	必履修	・必修	・選択
対象学年・類型・コース	1年 普通科・総合学科						
使用教科書	『標準国語総合』（第一学習社）						
副教材	新国語便覧（第一学習社）・完全マスター古典文法（第一学習社）						
目標とする生徒の将来像	日本人が古くから親しんできた優れた文学作品を読むことで、日本古来のものの見方、感じ方、考え方に対する関心を深め、人生をより豊かにする糧にすると共に、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。						
評価の観点	①関心・態度・意欲：古典を読む力を高め、古典への理解や関心を深めようとしているか。 ②読む能力：古典に表された思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させているか。 ③知識・理解：伝統的な言語文化・言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けているか。						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法 ※テスト=定期考查含	自己評価		
1 学 期	第1回定期試験 5/21～	・古文入門「児そら寝」 ・古文を読むために①②ろさを理解し、正確に音読する。 歴史的仮名遣い 現代語との違い ・「絵仮師良秀」 ・古文をよむために③用言の活用	・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解し、正確に音読する。 歴史的仮名遣いに習熟し、古文の特徴を理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・用言の活用を理解する。	① 授業態度・ノート ② 音読・内容理解 ③ テスト	A	B	C
	第2回定期試験 7/3～	・漢文入門「訓読に親しむ」 ・漢文を読むため①②③ ・故事成語「五十歩百歩」	・漢文に親しみを持ち、漢文を学習する意義を知る。 ・漢文を日本の文化に取り入れた先人の工夫（訓読）を理解する。 ・故事成語の意味等を理解する。	① 授業態度・ノート ② 音読・内容理解 ③ テスト	A	B	C
2 学 期	第3回定期試験 10/2～	・徒然草「つれづれなるままに」「仁和寺にある法師」 ・伊勢物語「筒井筒」 ・古文を読むために④助動詞・助詞	・作者・兼好法師の人間、社会などに対する思想や感情を読み取る。 ・助動詞を理解し、口語訳に活かす。 ・歌物語における和歌の役割の理解と修辞技巧を理解する。 ・助動詞・助詞を理解し、口語訳に活かす。	① 授業態度・ノート ② 音読・内容理解 ③ テスト	A	B	C
	第4回定期試験 12/4～	・故事成語「矛盾」 ・故事成語の由来と意味調べ ・唐詩 4編	・故事成語の意味と成り立ちを理解する。 ・副教材・図書館資料などを活用し、故事成語を調べ、発表する。 ・作品を深く味わい、漢詩のきまりを理解する。	① 授業態度・ノート ② 音読・内容理解 ③ 発表・テスト	A	B	C
3 学 期	第5回定期試験 2/22～	・土佐日記「門出」 ・奥の細道「平泉」	・作者の置かれている状況を理解し、作者の思想や感情を読み取る。 ・人生を旅と見る作者の思想を理解する。	① 授業態度・ノート ② 音読・内容理解 ③ テスト	A	B	C
	履修にあたって	古典とは「古い古い作品」ではなく、長い長い時を超えて、多くの人びとに感動を与え続けてきた本物の芸術作品です！眞の芸術作品に触れて、人生を豊かにしましょう。					

教科年間シラバス

詳細は授業にて指示

教科・科目	地理歴史・世界史A	単位数	2	必履修	<input checked="" type="radio"/> 必修	・ 選択
学年・系列・コース	1年全学科全クラス					
使用教科書	世界史A（実教出版）	副教材	アカデミア世界史			
目標とする 生徒の将来像	近現代史を中心とする世界の歴史を、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。現代の諸課題を歴史的観点から考察し、歴史的思考を培う。国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
評価の観点	①授業への関心、意欲、態度および、授業内容を日本の歴史と関連付け、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現していること。(10%) ②諸資料の収集、有用な情報の選択、読み取り、図表などへのまとめ。(10%) ③近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。(80%)					

学期	単元・教材	主たる目標・つけたい力	評価の観点
1 学期	第1章 ユーラシアの諸文明の特質 1 西アジア世界・イスラーム世界 2 ヨーロッパ世界 3 南アジア世界・東南アジア世界 4 東アジア世界・内陸アジア世界 第2章 ユーラシアの交流 1 海と陸の交流 2 モンゴル帝国と東西の交流 3 ヨーロッパ商業圏と東アジア海域の発展 第3章 一体化に向かう世界 1 世界の一体化の第一歩 2 ルネサンスと宗教改革 3 ヨーロッパの主権国家体制	・西アジア世界・イスラーム世界の特質の把握 ・ヨーロッパの風土と諸民族、ヨーロッパ世界の特質の把握。南アジア・東南アジアの風土と諸民族、南アジア世界・東南アジア世界の特質の把握。 ・東アジア・内陸アジアの風土と諸民族、国際体制、日本を含む東アジア世界の特質の把握。 ・ユーラシアの諸地域を結ぶ海と陸のネットワークの成長の把握。 ・モンゴル帝国の拡大とユーラシアの一体化の把握。 ・ヨーロッパにおける商業圏の発展や、日本を含む東アジア海域の交流圏の成長の把握。 ・大航海時代の世界の一体化への動きの理解。 ヨーロッパの主権国家体制の成立への理解。	①②③
2 学期	第4章 アジアの繁栄と世界 1 アジアの繁栄 2 世界経済体制の形成 第5章 19世紀の世界の一体化と日本 1 産業革命と工業化社会の成立 2 アメリカ独立戦争 3 フランス革命とナポレオン戦争 第6章 二つの世界大戦 1 激変する社会と帝国主義 2 第一次世界大戦とロシア革命 3 戦間期のヨーロッパとアメリカ 4 民族運動の高まり 5 第二次世界大戦	・産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展、拡大する貿易活動を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける資本主義の確立と国民形成を理解する。 ・ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中の日本の対応を扱い、19世紀の世界の一体化とその特質を理解する。 ・輸送革命、マスメディアの発達、企業や国家の巨大化、社会の大衆化と政治や文化の変容、公教育の普及と国民統合などを扱い、20世紀という時代の特質を人類的視野から把握できる。 ・第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解し、平和の意義などについて考察できる。	①②③
3 学期	第7章 第二次世界大戦後の世界と日本 1 冷たい戦争 2 アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 3 多極化の進展と冷戦体制の崩壊 第8章 現代の世界 1 統合へ向かうヨーロッパ 2 旧ソ連・東ヨーロッパ諸国の動向 3 アメリカの戦争と世界同時不況 4 西アジアの混迷 5 南アジア・東南アジアの動き 6 巨大化する中国と東アジアの変動 7 ラテンアメリカ・アフリカ・オセアニアの情勢 終章 持続可能な世界をめざして 1 巨大技術と人間 2 人がらしく生きるために 3 なお続く紛争	・第二次世界大戦後の世界が抱える問題などについて考察できる。 ・1970年代以降の市場経済の世界化や地球規模での問題の出現を理解し、日本が世界の諸国、諸地域と多様性を認めあいながら共存する方向などについて考察する。 ・原子力の利用、情報科学など現代の科学技術の人類への寄与と課題、移民や女性・子どもなど様々な人々に関する問題、地域紛争の原因とその歴史的背景などを追究し、人種の生存と環境、世界の平和と安全などについて考察するとともに、国際的な交流と協調の必要性に気付くことができる。	①②③

検定資格(時期) 諸費用(予定)	なし
履修にあたって	常になぜ・どうして、こういうことが起こったのだろうか。目的は何だったのかという疑問を持ち、いろいろな方法を使って考え、自分の意見や考え方を持つことができるようになることを期待します。

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	数学 I+A	単位	3+2	履修区分	必履修	・必修	・選択
対象学年・類型・コース	1年 総合学科						
使用教科書	教研出版 改訂版 新編数学 I 教研出版 改訂版 新編数学 A						
目標とする生徒の将来像	数学を通して、様々なことを数学を活用して考察し表現する能力を高める。						
評価の観点	(1) 定期試験 (2) 日常の学習活動 (①週末課題確認テスト・②授業への参加・③提出物・④標準考查)						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方	自己評価法		
1 学期	第1回定期試験	数学I 第1章 1. 整式の加法減法～ 8. 絶対値を含む方程式・不等式	・基礎的な考え方について理解を深め、活用できるようにする。	・定期試験 ・授業小テスト ・授業への参加 ・提出物	A B C		
	第2回定期試験	数学I 第2章 数学A 第1章 1. 集合の要素と個数～ 4. 組合せ		・定期試験 ・授業小テスト ・授業への参加 ・提出物	A B C		
2 学期	第3回定期試験	数学A 第1章 5. 事象と確率～ 8. 条件付き確率 数学I 第3章 1. 関数とグラフ～ 4. 2次関数の決定	・確率の意味を知り、身近な現象と結びつけて考えることが出来る。 ・グラフの意味を理解し、表現できるようにする。	・定期試験 ・授業小テスト ・授業への参加 ・提出物	A B C		
	第4回定期試験	数学I 第3章 5. 2次方程式～ 7. 2次不等式 第4章	・2次方程式の解法とその意味を理解し、その発展として2次不等式の解法が出来るようになる。	・定期試験 ・授業小テスト ・授業への参加 ・提出物	A B C		
3 学期	第5回定期試験	数学A 第2章 数学I 第5章	・平面図形や空間図形の性質について理解を深め、それらを考察、活用できるようにする。 ・身近なデータを処理できるようにする。	・定期試験 ・授業小テスト ・授業への参加 ・提出物	A B C		
	検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）						
	履修にあたって	数学に苦手意識を持っている生徒も多いと思います。高校の数学はすべて内容がつながっていますので、しっかりと復習をしておきましょう。特に基本的な計算は訓練をしておくことが大切です。					

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	理科 科学と人間生活	単位	2	履修区分	必履修	・必修	・選択
対象学年・類型・コース	1年農業科・総合学科						
使用教科書	東京書籍『科学と人間生活』						
目標とする生徒の将来像	身近な事物・現象を考えるために必要な科学的素養を高める。						
評価の観点	①【関心・意欲・態度】身近な事物・現象について関心をもち、意欲的に考えるとともに、科学的な見方や考え方を身につける。 ②【思考・判断・表現】身近な事物・現象を科学的に考え、的確に説明する。 ③【観察・実験の技能】身近な事物・現象について観察・実験の基本操作を習得する。 ④【知識・理解】身近な事物・現象について、基本的な知識を身につける。						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価		
1 学 期	第1回定期試験	生物と光 1. 植物の生育と光 2. 光シグナルと生物 3. ヒトの視覚と光	・光合成を理解する。 ・呼吸を理解する。 ・ヒトの眼の構造を理解する。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等 ②③実験レポート	A B C A B C A B C A B C		
	第2回定期試験	微生物とその利用 1. さまざまな微生物 2. 微生物と人間生活のかかわり 材料とその再利用 1. プラスチック 2. 金属	・食品中、空気中、土中、水中の微生物を観察する。 ・発酵や腐敗が微生物のはたらきによって起こることを理解する。 ・プラスチックや金属の性質の理解を深める。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等 ②③実験レポート	A B C A B C A B C A B C		
2 学 期	第3回定期試験	資源の再利用 衣料と食品 1. 衣料 2. 食品 光の性質とその利用 1. 目に見える光の世界 2. 光の進み方とその基本的性質	・繊維の分類と利用について理解する。 ・食品を構成する元素と組成を理解する。 ・物質の屈折率と光の速さとの関係を理解する。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等 ②③実験レポート	A B C A B C A B C A B C		
	第4回定期試験	見えない光とその応用 熱の性質とその利用 1. 热とは何か 2. 热と人間生活 身近な天体と太陽系における地球 1. 天体が刻む「時」 2. 太陽系の構造	・電磁波を理解する。 ・物質の三態変化や熱膨張、及び絶対温度について理解する。 ・身近なエネルギーについて具体例とともに理解する。 ・1年を通じた太陽高度、日照時間の変化を天球から理解する。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等 ②③実験レポート	A B C A B C A B C A B C		
3 学 期	第5回定期試験	太陽が動かす大気と水 1. 身のまわりの景観の成り立ち 2. 自然災害と人間	・エネルギー問題について考えさせる。 ・自然景観を理解する。 ・自然災害と対策を理解する。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等 ②③実験レポート	A B C A B C A B C A B C		
	履修にあたって	授業で指示された問題は必ず解けるようにする。 いつも「なぜ?」という疑問は持ち続け、自分で調べる。 問題集の問題は、完全に理解できるまで繰り返し解く。 定期試験、模擬試験の問題は必ず取って置き、間違えたところは必ず出来るようにする。					

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	保健体育・体育	単位	3	履修区分	必履修	・必修	・選択
対象学年・類型・コース	1年総合学科						
使用教科書	なし						
目標とする生徒の将来像	<ul style="list-style-type: none"> 時間やルールを厳守し、率先して与えられた役割を確実にこなそうとする、責任感のある生徒。 運動の技能や知識を身につけ、高めていくために努力を継続することができる生徒。 積極的に活動に参加し、自己表現や他者への配慮などのコミュニケーションをとろうとする、信頼できる生徒。 						
評価の観点	<p>①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。</p> <p>②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。</p> <p>③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が發揮できているか。</p> <p>④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。</p>						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価		
1 学 期	第1回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> 体つくり運動（体力を高める運動、集合、整頓、列の増減、集団としての行動） 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な運動能力を身につける 大きな声を出すとともに、迅速に集団としての協調的な動きができるようになる。 	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C A B C A B C A B C		
	第2回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> バレー（男子） ソフトボール（女子） 	<ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。 	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C		
2 学 期	第3回定期試験	・ペース走	<ul style="list-style-type: none"> 自己に適したペースを維持して走ったり、ペースの変化に対応して走ったりする。徐々に記録を向上させる努力をする。 	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C		
	第4回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> マット運動（男子） ダンス（女子） 	<ul style="list-style-type: none"> マット運動 基本的な技や発展技をなめらかに安定して行う。技を構成し演技をする。 ダンス 仲間と一緒に踊る楽しさや喜びを味わい、表現力や動きの質を高めて、交流や発表ができるようにする。 	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C		
3 学 期	第5回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> サッカー（男子） バスケ（女子） 体育理論 	<ul style="list-style-type: none"> サッカー、バスケ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。 体育理論 生涯豊かなスポーツライフを送る上で必要となるスポーツに関する科学的知識を身につける。 	①観察 ②観察 ③テスト ④ワークシート	A B C A B C A B C A B C		
	検定資格（時期） 諸費用（予定）	なし					
履修にあたって	チャイム前には整列をし、大きな声で挨拶・体操をするところから体育の授業は始まります。 お互いに100%で授業に臨みましょう。						

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

平成30年度 1年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	コミュニケーション英語 I	単位 3	履修区分	必履修 ・必修 ・選択
対象学年・類型・コース	1年 普通科、総合学科科			
使用教科書	NEW FLAG English Communication I			
目標とする生徒の将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒。 ・教科書の英文を読み、書かれている内容を理解できる生徒。 ・英語での対話や説明文などを聞いて、その概要をつかむことができる生徒。 ・学んだことや経験したことをもとに、自分の意見を相手に伝えたり、相手の意見を理解しようとする生徒。 ・学んだことや得た情報を用いて、自分の考えについて、簡単な文章で書き表すことができる生徒。 			
評価の観点	① 定期試験 ② 授業内小テスト ③ 提出点 ④ 授業態度 ⑤ SHR 英単語テスト			
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法
1学 期	第1回定期試験	Lesson 1 Get Your Goal with English"	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を理解することができる ・現在形、過去形、未来の表現を違いを理解して活用できる ・SVC と SVO の違いを理解し、活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の小テスト ・定期考査 ・宿題、提出物 ・SHR 英単語テスト
	第2回定期試験	Lesson2 Around the world Lesson 3 How our brain works	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を理解することができる ・SVOC の文型を理解し、活用できる ・動名詞、SVO、比較、不定詞を理解し、活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の小テスト ・定期考査 ・宿題、提出物 ・SHR 英単語テスト
2学 期	第3回定期試験	Lesson 4 My Cool Japan Lesson 5 The History of Ice Cream	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を理解することができる ・名詞を修飾する節、不定詞、完了形、受け身を理解し、活用できる ・分詞の後置修飾、不定詞の応用表現を理解し、活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の小テスト ・定期考査 ・宿題、提出物 ・SHR 英単語テスト
	第4回定期試験	Lesson 6 The Hands Lesson 7 Sowing the Seeds of Hope	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を理解することができる ・過去完了形、関係代名詞 what、助動詞の受け身を理解し活用できる ・環境保全のために、個人としてなにができるか考え、表現できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の小テスト ・定期考査 ・宿題、提出物 ・SHR 英単語テスト
3学 期	第5回定期試験	Lesson 8 English or Kanji?	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を理解することができる ・分詞構文、強調構文、使役の表現を理解し、活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の小テスト ・定期考査 ・宿題、提出物 ・SHR 英単語テスト
検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）	<ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定 年間3回(6月、10月、1月) ・H30入学生より、入試制度が変わります。外部検定試験が課せられるようになるので、3年次で準2級あるいは2級を取得できるように早めの準備とチャレンジをしていきましょう。 			
履修にあたって	毎時間の授業には、必ず辞書も用意すること			

平成30年度1年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	英語表現 I	単位	2	履修区分	必履修・必修・選択
対象学年・類型・コース	1年総合学科				
使用教科書	English Expression I Standard IIZUNA SHOTEN				
目標とする生徒の将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒。 ・与えられた話題について、一生懸命に取り組む生徒。 ・読み手や目的に応じて、簡潔に英文で書くことができる生徒。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。 				
評価の観点	<p>① 定期試験 ② 日常の学習活動 (① 授業小テスト・②授業活動への参加・③英単語テスト・④標準考査・⑤提出物) ③ ALT の授業への積極的な参加と取り組み</p>				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1学 期	第1回定期試験	Pre-Lesson Lesson 1 I play soccer	<ul style="list-style-type: none"> ・Classroom Englishについて理解し、活用できる。 ・自己紹介の仕方、挨拶の違いなど、様々な文化や習慣の違いを理解できる。 ・この課の言語材料を使用し、自己紹介したり、書いたり、発表したりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・授業小テスト ・授業活動への参加・（英単語テスト） ・提出物 ・ALT の授業への積極的な参加 	A B C
	第2回定期試験	Lesson 2 I went to Dubai with my family Lesson 3 I've finished my homework	<ul style="list-style-type: none"> ・この課の言語材料を使用し、「休暇や休日」について書いたり話したりする表現を理解する。 ・文法項目「過去、未来、過去進行形」「現在完了系、過去完了形」の使い方を学び、理解できる。 ・文法項目の問題を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・授業小テスト ・授業活動への参加・（英単語テスト） ・提出物 ・ALT の授業への積極的な参加 	A B C
2学 期	第3回定期試験	Lesson 4 The game had already started	<ul style="list-style-type: none"> ・この課の言語材料を使用し、「学習」について書いたり話したりする表現に親しませる。・文法項目「過去完了形・過去完了進行形・未来完了」の使い方を学び、理解できる。 ・文法項目の問題を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・授業小テスト ・授業活動への参加・（英単語テスト） ・提出物 ・ALT の授業への積極的な参加 	A B C
	第4回定期試験	Lesson 5 Can you give me a hand? Lesson 6 I have to prepare for a presentation	<ul style="list-style-type: none"> ・この課の言語材料を使用し、「食事」について書いたり話したりする表現に親しませる。・文法項目「能力・可能・意志・依頼を表す助動詞」の使い方を学んで理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・授業小テスト ・授業活動への参加・（英単語テスト） ・提出物 ・ALT の授業への積極的な参加 	A B C
3学 期	第5回定期試験	Lesson 7 You must have a fever	<ul style="list-style-type: none"> ・この課の言語材料を使用し、「家庭」について書いたり話したりする表現に親しませる。・文法項目「確信・推測・推量を表す助動詞」の使い方を学んで理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・授業小テスト ・授業活動への参加・（英単語テスト） ・提出物 ・ALT の授業への積極的な参加 	A B C
検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）	<p>・実用英語技能検定 年間3回（6月、10月、1月）⇒入試に必要な場合あり H30入学生より、入試制度が変わります。外部検定試験が課せられるようになるので、3年次で準2級あるいは2級を取得できるように早めの準備とチャレンジをしていきましょう</p>				
履修にあたって	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の授業に、必ず辞書を持参すること。 				

平成 30 年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	家庭・家庭基礎	単位	2	履修区分	必履修	・ 選択			
対象学年・類型・コース	1 年・総合学科								
使用教科書	新家庭基礎 未来へつなぐパートナーシップ								
目標とする生徒の将来像	人の一生、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、食生活、衣生活、住生活、消費生活、環境などに関する知識と技術を総合的に習得し、生活における課題を見つけ、自ら解決する力を身につけるとともに、実践的な学習を通して、家庭生活の充実向上をめざし、実現できる力をつけています。								
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】生活に关心をもっているか。意欲的、積極的に課題解決しようとしているか。</p> <p>【思考・判断・表現】家庭や地域の生活について見直し、課題をみつけ、その解決を目指して、学んだ知識・技術を生かしたいくつかの方法を比較検討し、意思決定をするなど工夫し創造しているか。まとめて表現できる技術などの技術を応用発展させ、その成果を適切に表現しているか。</p> <p>【技能】家庭や地域の生活に関する基礎的・基本的な技術を習得しているか。調査・観察などの技術を身につけているか。</p> <p>【知識・理解】人間の発達と生活の営みとのかかわり、家族・家庭生活の意義、家庭生活の各分野に関する基礎的・基本的な知識などについて、断片的にではなく実際の生活の充実向上に役立つよう総合的に理解しているか。</p>								
学 期	期間	単元・教材名	主たる目標			評価の観点			
1 学 期	第1回定期試験	1章人と関わって生きる 生き方・子どもを知る 生活・発達・親になる	人の一生を生涯発達の視点で捉える。共に支え合って生活する重要性を理解する。 子どもを産み育てるこの意義を知る。			【知・理】 【関・意・態】			
	第2回定期試験	1章食生活をつくる 栄養と食品の関わり 食品の選び方と調理	より良い食生活について考える。 健康で安全な食生活を営むために必要な栄養素の基本的知識を習得する。食品の栄養的特徴と調理上の性質を理解し、基本的な技術と知識を習得する。			【知・理】 【思・判・表】 【関・意・態】 【技】			
2 学 期	第3回定期試験	3章高齢者とかかわる 4章社会と関わる 3編消費者として自立する 関わり・計画・環境	高齢期の特徴と高齢社会の課題について理解する。地域社会での役割について考える。 自らも消費者であることを理解し、消費に関する正しい情報を得られる力を身に付ける。			【知・理】 【関・意・態】 【思・判・表】			
	第4回定期試験	3章住生活を作る 住居平面図 これからの住まい	住宅の種類や住空間の構成について理解し、ライフスタイルにあった住居の選択ができる。生活行為と住空間の種類、広さ、配置などの基本的な考え方を知り、平面図を作成する。			【関・意・態】 【技】			
3 学 期	第5回定期試験	2章衣生活を作る 関わり、素材・管理・環境 全ての人が快適な衣生活 衣服の形・デザイン・実習	衣生活の変化、現状や問題点を把握し、自らの衣生活と結びつけて学ぶ。エプロン製作を通じて裁縫道具・ミシンの扱い方、ボタン付け等ができるようにする。			【知・理】 【関・意・態】 【思・判・表】			
	検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）	全国高等学校家庭科食物調理技術検定 4 級（前期 7 月・600 円） 前期で不合格だった場合、希望者は後期試験（後期 1 月・600 円）受験可能 次年度、食文化 選択者は 3 級受験予定のため、本授業にて 4 級を必ず取得すること。							
	履修にあたって	<ul style="list-style-type: none"> 講義、調理・被服製作実習、体験学習、調査・研究、ホームプロジェクトなどの学習を通して、社会のさまざまな現象についてより深い理解と関心を高め、生活に生きて働く力をつけていきたいと思います。 授業は、みなさんが主役です。自分の意見をしっかりともち、仲間の意見には耳を傾け、真面目に主体的に取り組みましょう。発展学習にも積極的に挑戦し取り組みましょう。 							

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	社会と情報	単位	2	履修区分	・必修		
対象学年・類型・コース	総合学科 1学年						
使用教科書	最新社会と情報（実教出版）			7実教 社情302			
目標とする生徒の将来像	1. 情報化と情報産業の発展が、社会にどのような影響を与えていけるかを理解する。 2. 情報や情報モデルに関する基礎知識を習得する。 3. 情報活用能力を身に付け、社会の発展に寄与する能力と態度を身に付ける						
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】情報の各分野に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとともに、実践的な態度を身に付けています。</p> <p>【思考・判断・技能】情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、情報社会に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けています。</p> <p>【技能】情報の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。</p> <p>【知識・理解】情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。</p>						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価		
1 学 期	第1回定期試験	・教科書 ・ビジネス文書検定模擬試験問題集	・パソコンの基本的操作方法や、ワープロソフトを使用したタイピングの基礎を学ぶ。希望者は7月の検定試験受験可能。	【技】 【関】			
	第2回定期試験	・教科書 ・ビジネス文書検定模擬試験問題集	引き続きワープロソフトを十数種とともに、情報科社会の問題点などについて学習する。	【知】 【関】 【技】 【思】			
2 学 期	第3回定期試験	・教科書	・個人情報や知的財産権（著作権や肖像権など）について学び、自分自身がインターネットを使用する際のマナーについて考える。	【関】 【思】 【技】			
	第4回定期試験	・教科書 ・情報処理検定模擬試験問題集	・ハードウェアやソフトウェアの仕組みについて学ぶ。また、表計算ソフトを使った処理について実習する。希望者は検定試験受験可能。	【知】 【関】 【技】 【思】			
3 学 期	第5回定期試験	・教科書	・情報を伝えるための工夫や技術などについて考え、実習する。	【知】 【関】 【技】 【思】			
	検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）	希望者は、総合学科（情報観光系列）で実施している全国商業高等学校協会主催・ビジネス文書実務検定試験・情報処理試験を受験することができる。費用は級によって異なるが1000円から2000円。					
	履修にあたって	実習が多くなりますので意欲的な参加を求めます。機器操作が苦手な人・初めての人も基礎から行いますので安心して下さい。スマートフォン、著作権の問題など、これから的情報科社会で必要不可欠な知識も学びます。					

